板橋 子どもの劇団・合唱団旗揚げ

旧高七小で24日公演

文化的な都市間の協力を強化する「ユネスコ創造都市ネットワーク」の加盟申請を目指し、板橋区は区内在住・在学の子どもの劇団「いたばしコミュニティシアター」と合唱団「いたばしキッズシンガーズ」を新設した。24日午後1～3時、旧高島第七小（旧高七小）中庭で旗揚げ公演を開く。（増井のぞみ）



劇団の練習で、マグロ（後方）に食べられそうなスイミー（先頭）と他の魚たちを演じる子どもたち＝いずれも板橋区の新河岸小で

「スイミー」の世界 再現



ニヤカムさん㊧とダンスの練習に励む子どもたち

アフリカ×日本 創作ダンスも

カメルーン出身で国際的ダンサーのメルラン・ニヤカムさんを講師に迎え区が結成した子どもの創作ダンスチーム「『AFIRI（希望）』ダンサーズ」と、賛助出演する八王子市の子ども合唱団「はちおうじキッズシンガーズ」も花を添える。

合唱団は1月、劇団は2月、ダンスチームは3月から、新河岸小で練習してきた。劇団は小学3年から中学1年の28人からなり、閉校前の旧高七小の登校風景や絵本「スイミー」の世界を再現する。主役の黒い魚「スイミー」は全員が分担して演じる。新河岸小5年の池上緒美（つぐみ）さんは「表情と声を大きくして、遠くのお客さんに届くように演じたい」と抱負を語る。

ニヤカムさんは小中学生ら8人とアフリカの歌と日本の童謡「かごめかごめ」を合わせたダンスを創作。「心の底から楽しむ演技で希望を持ってもらえたら」と話している。

公演はいずれも観覧無料だが、区ホームページ「いたばし夢企画」から要予約。雨天中止。

東京新聞　令和８年５月２０日刊行